



平成29年度山形大学公開講座 「人文社会科学部」



平成29年度  
山形大学公開講座 [人文社会科学部]

# 自由貿易と海外進出

法律・経済・経営の視点から

平成29年  
9月21日(木)～  
10月19日(木)

講義時間-毎回  
午後6時30分～8時10分  
(計5回)

- 9/21 [木曜日] **なぜ地域貿易協定なのか?—余剰分析からの視点—**  
講師(人文社会科学部主担当) 亀井 慶太
- 9/28 [木曜日] **中小企業における海外展開戦略の新段階**  
准教授(人文社会科学部主担当) 吉原 元子
- 10/5 [木曜日] **経済グローバル化の国際ルール—WTOからTPPへ—**  
上智大学法学部 教授 川瀬 剛志
- 10/12 [木曜日] **自由貿易はGDPにどのような影響を与えるか?—マクロ経済学の視点から考える—**  
准教授(人文社会科学部主担当) 溜川 健一
- 10/19 [木曜日] **地球温暖化対策と自由貿易—産業保護政策になっているのか—**  
准教授(人文社会科学部主担当) 杉野 誠

場 所：山形大学人文社会科学部 講義室  
対 象：一般市民・大学生・高校生 定員30名  
受 講 料：一般 2,000円 大学生・高校生は無料  
募集期間：平成29年8月21日(月)～9月15日(金)

【お問い合わせ先】  
山形大学人文社会科学部事務室  
電 話：023-628-4203  
E-mail：jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

募 集 人 員  
募 集 期 間  
受 講 料  
お申し込み方法

一般市民・大学生・高校生 30名  
平成29年8月21日(月)～9月15日(金)  
2,000円(大学生・高校生は無料)

お問い合わせ先

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文社会科学部事務室  
TEL:023-628-4203 E-mail:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会 場 案 内

山形大学人文社会科学部/  
1号館2階205教室

大学正門を入れて正面の建物です。受付は人文社会科学部玄関にて行ないます。



そ の 他

【公共交通機関ご利用のお願い】

現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。

### シャトルバス運行時刻表

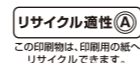
<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/etc/bus> 参照

なお、山形駅行き最終便は18:40発となっております。  
また、山交バス県庁前▶山形駅前行きの最終便は、南高前バス停19:42発、山形～仙台間高速・都市間バス山形駅行き最終便は、南高前バス停23:24発です。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意  
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



ヒト・モノ・カネ(労働・財・資金)は、近年のグローバル経済が進む以前から国境を越えて経済活動を支えてきた。近年は、グローバル化の進展に伴い、さらにその流動性が高まっている。特に貿易は、生活を豊かにし、経済発展に寄与してきた。今後、グローバル化がさらに進展することにより、自由貿易協定が結ばれ、自由貿易が進むことが予想される。

その反面、貿易は、貿易摩擦を引き起こしてきた。例えば、1960年代から1980年代にかけて起きた繊維、鉄鋼、カラーテレビ、自動車、半導体による日米の貿易摩擦があげられる。近年では、国内・域内の経済格差の原因として自由貿易が敵視されている。イギリスのEU離脱、TPPやNAFTAに懐疑的なトランプ政権の誕生は、自由貿易の負の側面への反発でもある。

# 自由貿易と海外進出と

法律・経済・経営の視点から

9/21  
【木曜日】

なぜ地域貿易協定なのか？  
—余剰分析からの視点—  
講師 (人文社会科学部主担当) 亀井 慶太



1990年代以降、世界全体で地域貿易協定の数が急速に増加しています。近年、日本でも環太平洋連携協定(TPP)締結の是非について様々な議論が行われました。なぜ、ここまで地域貿易協定の数が増大したのでしょうか。そして、GATT/WTOが推進する世界全体の貿易自由化と比較したとき、地域を限定した貿易自由化は果たして望ましいことなのでしょうか。これらの問題について、経済学を利用して考えてみたいと思います。

<専門領域 国際貿易論>

9/28  
【木曜日】

中小企業における海外展開戦略の新段階  
准教授 (人文社会科学部主担当) 吉原 元子



かつて、中小企業による海外展開は大企業による海外生産拡大への対応と、安価な労働力確保が主な目的でした。しかし、近年その状況は大きく変化しています。海外展開を行う中小企業は増加傾向にあると同時に、輸出、直接投資、生産委託などの形態で展開され、その目的も変化しています。一方、海外から撤退する企業もあとをたちません。成功経験、失敗経験が蓄積される中で、中小企業は海外展開をより戦略的に行うことが求められています。本講義ではさまざまな中小企業・組織の事例を検討しながら、海外展開をどのように経営に取り入れるかとその課題について考えます。

<専門領域 中小企業論>

10/5  
【木曜日】

経済グローバル化の国際ルール  
—WTOからTPPへ—  
上智大学法学部 教授 川瀬 剛志



経済のグローバル化は必ずしも全て自然に達成されるものではありません。様々な国際ルール(経済協定)が、モノ、サービス、資本、そして一部人や情報の国際移動への障壁や差別を取り除くことによって、これを下支えています。このルールとは、多国間のWTO協定であり、昨今ではFTA、EPAといった地域経済協定や二国間投資協定ですが、その進化型がTPPでしょう。

本講義は、こうした国際ルールを概観し、現在のグローバル経済を形造る制度枠組みを勉強する機会です。受講の翌日から皆様にとってニュースの理解が一段深まれば幸いです。<専門領域 国際経済法>

そこで本講座では、「自由貿易」という広いテーマを設定し、法学、経済学、経営学の視点からアプローチする。本講座は、受講者に自由貿易の「真意」を理解する手がかりを与えると同時に、どの様に自由貿易時代を生き抜くかを考えるきっかけを与えることが考えられる。さらに、分野間の垣根を超えた学際的な研究の可能性を探る試みになると考えられる。

平成29年度  
山形大学公開講座  
[人文社会科学部]

10/12  
【木曜日】

自由貿易はGDPにどのような影響を与えるか？  
—マクロ経済学の視点から考える—  
准教授 (人文社会科学部主担当) 溜川 健一



様々な産業分野で貿易自由化が進むとすれば、躍進する産業、衰退する産業が出てきます。このように産業ごとに影響が違ななかで、「一国全体としての経済活動」はどのような影響を受けるでしょうか。産業分野ごとだけでなく、一国全体の経済への影響という観点も考慮すれば、貿易自由化の議論も深まるはず。本講義では、一国経済を対象とした経済学であるマクロ経済学を基礎として、貿易自由化が一国経済にどのような影響をもたらすのかを考えていきます。

<専門領域 マクロ経済学>

10/19  
【木曜日】

地球温暖化対策と自由貿易  
—産業保護政策になっているのか—  
准教授 (人文社会科学部主担当) 杉野 誠



多くの国では、国内産業の保護から自由貿易に移行しています。近年、気候変動政策の一環として温室効果ガスを対象とした排出量取引制度や炭素税などが導入されています。自由貿易と環境保護は、関係が無いように思われがちですが、各国の気候変動政策には隠された産業保護の要素があります。そこで本講義では、気候変動政策に隠された産業保護の影響を考えます。

<専門領域 環境経済学>

02	払込取扱票				通常払込料金 加入者負担							
口座記号番号				金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	2	2	6	0	7				2	0	0	0
加入者名 国立大学法人山形大学				料金	備考							
*「自由貿易と海外進出—法律・経済・経営の視点から—」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文社会科学部) ○職業をお書きください。( ) ○年齢をお書きください。( ) ※払い込み済みの受講料は返金できませんのでご注意ください。 ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー様のご案内を本学からお送りする場合がございます。□ 承諾する □ 承諾しない (いずれかをチェック願います)				切り取らないでお出しください。								
*ご依頼人 おなまえ				様		日		附印				
おところ(郵便番号)				様		日		附印				
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)				これより下部には何も記入しないでください。								

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					2	0	0	0
おなまえ	様							
ご依頼人	様							
料金	日 附 印							
備考								

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所印を押してください。